

1. 単元名 「滝宮念仏踊りと綾川町のこれから」(香川県綾川町立綾川中学校を想定)

2. 単元の目標

- 滝宮念仏踊りの由来と継承における課題について適切な方法を用いて調べ、スライドや画用紙等にまとめることができる。(知識及び技能)
- 地域の伝統行事の継承に携わる人々や訪れる人々について学び、住む町の一員として生き方や行動の仕方を考える。(思考力・判断力・表現力等)
- 滝宮念仏踊りの継承やまちづくりについてグループのメンバーと協力して調べたり、考えを話したりし、当事者意識を育てる。(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では綾川町で長年続いている「滝宮念仏踊り」を取り扱う。滝宮念仏踊りは毎年8月下旬に滝宮神社と滝宮天満宮で行われている。雨が降らず、大飢饉となり苦しむ人々を救うために菅原道真が7日間祈りを捧げ、その後雨が降り、人々が感謝を踊りで表現したのが始まりと言われている。毎年多くの人がこの伝統行事を観に訪れるが、踊り組の後継者を見つけるのが大変だという声もある。生徒自身が地域の伝統行事の継承に携わる人々や訪れる人々について学び、住む町の一員として生き方や行動の仕方を考えることができるという点において大変重要な単元である。

(2) 生徒観

本学級の生徒(男子15名、女子19名、計34名)は明るく素直な生徒が多く、学習に意欲的に取り組んでいる様子が見られる。Chrombookを使用して調べる活動を行うことが得意な生徒が多く、積極的に活動に取り組むことができている。一方でグループでの活動は積極的だが、考えを自分から話せない生徒も多い。複数の小学校から生徒が集まっているため、小学校で滝宮念仏踊りについて学んでいる生徒と学んでいない生徒がいる。地域の伝統行事について基本的な知識はあるが当事者意識を持っている生徒は少ないという点は共通しているため、本単元をとおして伝統行事の継承やまちづくりについて当事者意識をもって考えることができると期待する。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては以下の点に留意したい。まず、滝宮念仏踊りについて学ぶ際には、インターネットで調べるだけでなく、踊り組に参加している人や奉納を観に訪れている人へインタビューを行う機会を設ける。実際に継承に携わる人や地域の人々の声を聴くことで生徒ひとりひとりが当事者意識をもち、継承に関する課題やまちづくりの課題を見つけられるようにする。

次に、滝宮念仏踊りと同様に継承について課題を抱えている他の地域の伝統行事や、反対に

課題を乗り越えている地域はないか調べる機会を設ける。この際、オンライン会議やビデオレターを用いて当事者の方との交流を行い、生徒が自分たちの力で何をすべきか、何が必要か考えられるようにする。他の地域と課題を共有したり、取り組みを聞いたりすることで生徒が意欲的に自分の住む町について考えられるようにする。

(4) ESD との関連

・ 本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

相互性…滝宮念仏踊りは滝宮天満宮や滝宮神社の方と協力しながら長年続けられてきた。

責任性…現在まで、滝宮念仏踊りが長年続いているのは当たり前ではなく、そこに携わる人が伝え続けてきたということ。

連携性…これまで以上に地域全体で伝統行事を支えるためには、地域住民同士のつながりが大切だということ。

・ 本学習で育てたい ESD の資質・能力

長期的思考力

現在の滝宮念仏踊りやまちづくりの課題について知り、将来の綾川町の伝統行事や魅力の保持や発展について考える。

コミュニケーション力

踊り組の方や他の地域伝統行事やまちづくりに携わる方へのインタビューをとおして複数の視点から考え、グループの生徒に自分の考えを伝えたり、地域の人々に自分たちの考えを発信したりする。

協働的問題解決力

グループの生徒と協力して滝宮念仏踊りの継承やまちづくりの課題に対して自分たちが何をできるのか考える。地域の人々と協力することで課題解決やさらなる地域の発展になる手ではないか考える。

・ 本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正

現在、滝宮念仏踊りの継承やまちづくりに携わっている人々の思いを知り、自分たちも綾川町に住む一員として今ある伝統行事や綾川町の魅力を大切にすることをもち、今後、自分たちも役に立てることを考える。

幸福感に敏感になる、幸福を重視する。

いまある綾川町の伝統行事や魅力はたくさんの人々によって支えられているかけがえのないものだという意識をもつ。

・達成が期待される SDGs

- 1 1 住み続けられるまちづくりを
- 1 7 パートナーシップで目標を達成しよう

4. 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 滝宮念仏踊りの概要や継承と地域とのつながりについて学んだり調べたりした情報を理解している。	① 滝宮念仏踊りの継承や綾川町の魅力について、保持や発展のための方策を考えている。	① 滝宮念仏踊りについてインターネットやインタビューをとおしてグループのメンバーと協力して調べようとしている。
② 滝宮念仏踊りの継承やまちづくりについて学んだことをスライドや画用紙等にまとめた資料をもとに学級や地域の人に伝えている。	② 滝宮念仏踊りに携わる人々や訪れる人々について学び、綾川町の一員という視点から今後の自分の生き方を考えている。	② 綾川町に住む一員として滝宮念仏踊りの継承や、地域の魅力について、保持や発展のために自分なりにできることを考えようとしている。

5. 単元の指導計画（全 18 時間）

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
1 綾川町の魅力は何だろう？思いつくものを学級内で共有する。（1時間） ・この写真は僕の家付近だな。夕日と琴電がきれいだね ・滝宮念仏踊りにたくさんの人が集まっているね。	○生徒が意欲的に活動できるよう、綾川町の SNS や ホームページの紹介動画 、 住んでいるあやがわフォトコンテストの受賞作品の資料 を提示する。	ア① (知・技)
2 現時点で滝宮念仏踊りについて知っていることを学級内で共有する。その後、インターネット等を用いて滝宮念仏踊りの概要を調べる。（1時間） ・ユネスコ無形文化遺産に登録されたことは知っている。 ・ <u>なぜこんなにたくさんの人が集まるのだろう？</u>	○滝宮念仏踊りをイメージしやすくするために綾川町役場に掲示された大きな ポスターの写真 を提示する。 ○小学校で滝宮念仏踊りについて扱っていない生徒は滝宮念仏踊りに抱くイメージを考えられるように、ポスター以外の写真も提示する。	ア① (知・技)
3 奉納を観に訪れる人にインタビューを行う。（2時間） ・毎年来ている。勇気がもらえる。 ・綾川町の平和や発展を願っている。	○家庭にインタビューできる人がいる場合は授業までに各自インタビューを行う。 ○生徒が滝宮念仏踊りについて当事者意識をもつことができるように踊り組の小中	ウ① (主体的)

<p>4 主催者や踊り組の人にインタビューを行う。(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踊り組を通じて他の年代の人とつながりができた。 ・踊り組の担い手を探すのに苦労している。 <p>5 インタビューで分かったことをグループごとにまとめ、学級内で共有する。(1時間)</p>	<p>学生の参加者から話を聴く機会を設ける。</p> <p>○複数の踊り組に依頼し、グループごとに違う踊り組にインタビューを行うことで共通点や相違点に気付くことができるようにする。</p> <p>○生徒が責任をもって取り組むことができるように分かったことをまとめる方法は生徒たち自身で選択するようにする。</p>	<p>ウ① (主体的)</p> <p>ア② (知・技)</p>
<p>6 インタビューからどう感じているか、滝宮念仏踊りと綾川町とのつながりについて考える。マインドマップや関係図を用いてまとめる。(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綾川町の人々の願いを聞いてこれからも続けていきたいと思った。 	<p>○生徒が多角的に考えることができるように主催者や踊り組の人だけでなく、綾川町の人々の視点でも考えるように言葉かけを行う。</p>	<p>イ①② (思判表)</p>
<p>7 他の地域の伝統行事やまちづくりについて調べ、オンライン会議やビデオレターを用いて情報交換を行う。(3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継承者不足が課題の地域と一緒に頑張りたいな。 	<p>○地域全体で活発に伝統行事の継承やまちづくりに取り組んでいる例として長野県の「しあわせ信州」プロジェクトを提示する。</p>	<p>ウ① (主体的)</p>
<p>8 自分たちが今後どのような行動を取りたいかグループで考える。(1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは滝宮念仏踊りや綾川町の良いところを発信するのはどうかな。 	<p>○生徒が当事者意識をもって考えることができるよう、地域の人と協力し、いまの自分たちでできることを考えるよう言葉かけを行う。</p>	<p>イ①② (思判表)</p> <p>ウ② (主体的)</p>
<p>9 これまで滝宮念仏踊りの継承や綾川町のまちづくりについて学んだことやグループで考えたことをスライドや画用紙等を用いてまとめる。(3時間)</p>	<p>○異学年や保護者、地域の方に向けて発表することを事前に伝えることで、生徒が意欲的に、責任をもって取り組むことができるようにする。</p>	<p>ア② (知・技)</p>
<p>10 学級内でまとめたことを発表する。他のグループの発表について相互評価を行う(1時間)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ中学生だけど僕らも綾川町の一員だと意識しながら過ごしたいな。 	<p>○受け取った評価をもとに自己評価を行う。発表したグループには評価者は表示せず、評価内容のみ表示して公開する。</p>	<p>イ② (思判表)</p>
<p>11 異学年・保護者・地域の方に向けて発表を行う。(1時間)</p>	<p>○すべての人に伝わる表現や内容であるか生徒自身で点検するように言葉かけを行う。</p>	<p>ア② (知・技)</p>

指導：西口美佐子（奈良市立東登美ヶ丘小学校）